

2015年度第2四半期 決算説明会

2015年11月26日



株式会社 **中電工**

【中電工出席者】

代表取締役社長

小畑 博文

常務取締役 経理部長

四方田 茂

常務取締役 経営企画室長

國木 恒久

目次

1. 2015年度第2四半期決算		連結業績の推移	15
連結損益計算書	3	連結:売上高と売上高営業利益率の同業 他社比較	16
連結貸借対照表	4	株主還元(配当金の推移)	17
個別:部門別売上高	5	株主還元(自己株式取得)	18
個別:得意先別売上高	6	3. 中期経営計画(2015~2017)	
個別:地域別売上高	7	連結:数値目標	20
個別:手持工事高	8	主要施策	21
個別:投資有価証券償還益	9	持続的な成長のための投資	22
2. 2015年度業績予想(通期)		事業拡大のための投資枠の進捗状況	23
連結:業績予想	11	事業の進捗状況	24-26
個別:部門別 受注高・売上高	12	4. 参考情報	
個別:太陽光発電設備工事	13	会社概要	28-37
個別:リニューアル工事	14		

1. 2015年度第2四半期決算

2015年度第2四半期決算(連結損益計算書)

- 売上高・営業利益とも増加
- 経常利益は、保有債券の早期償還に伴う償還益が減少したことで横ばい
- 四半期純利益は、投資有価証券の売却益6億円を計上したことで増加

(単位:億円)

連結業績	2014年度 第2四半期		2015年度 第2四半期		増減額	前年比
売上高		609		616	6	101%
売上原価		531		526	▲5	99%
売上総利益	(12.8%)	78	(14.6%)	90	12	115%
販管費		47		50	2	105%
営業利益	(5.0%)	30	(6.5%)	40	9	131%
経常利益	(11.0%)	67	(11.0%)	67	0	101%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(8.1%)	49	(9.1%)	55	6	114%

※()内は売上高利益率

2015年度第2四半期決算(連結貸借対照表)

(単位:億円)

資産の部	2014年 9月末	2015年 3月末	2015年 9月末	2015年		負債・純資産の部	2014年 9月末	2015年 3月末	2015年 9月末	2015年	
				9月末 増減	3月末 増減					9月末 増減	3月末 増減
現金預金	228	177	203	△25	25	流動負債	304	381	289	△14	△92
受取手形・完工 未収入金等	305	444	345	40	△98	固定負債	88	76	46	△42	△30
有価証券	370	322	304	△65	△17	負債合計	392	458	335	△57	△122
未成工事支出金	70	53	81	10	28	資本金	34	34	34	0	0
その他	55	53	50	△5	△2	資本剰余金	1	1	1	△0	△0
流動資産合計	1,030	1,051	985	△44	△65	利益剰余金	1,975	2,024	2,055	79	30
有形固定資産	310	312	310	△0	△1	自己株式	△93	△92	△108	△15	△15
無形固定資産	9	9	9	△0	△0	その他の包括利 益累計額	131	174	154	23	△20
投資有価証券	978	1,070	1,005	26	△64	新株予約権・非 支配株主持分	15	17	17	2	0
その他の投資等	118	177	180	61	3	純資産合計	2,065	2,160	2,155	90	△5
その他	10	△1	△1	△11	0	負債純資産合計	2,458	2,618	2,490	32	△128
固定資産合計	1,428	1,567	1,505	77	△62						
資産合計	2,458	2,618	2,490	32	△128						

2015年度第2四半期決算(個別:部門別売上高)

- 屋内電気工事が減少(うち太陽光発電設備工事33億円減少)
- 配電線工事が増加(工事の平準化による増加)

(単位:億円)

区分	期別	2014年度第2四半期		2015年度第2四半期		増減額	前年比
		金額	構成比	金額	構成比		
屋内電気工事		304	54%	286	51%	▲18	94%
空調・管工事		91	16%	92	16%	0	101%
情報通信工事		20	4%	18	3%	▲1	90%
配電線工事		133	24%	150	27%	17	113%
発送変電工事		11	2%	16	3%	5	152%
合計		562	100%	564	100%	2	101%

2015年度第2四半期決算(個別:得意先別売上高)

- 配電線工事の増加により中国電力が増加
- 太陽光発電設備工事の減少により一般得意先が減少

(単位:億円)

区分	期別	2014年度第2四半期		2015年度第2四半期		増減額	前年比
		金額	構成比	金額	構成比		
中国電力		154	28%	177	31%	22	114%
官公庁		76	14%	81	14%	4	106%
一般得意先		330	59%	306	54%	▲24	93%
合計		562	100%	564	100%	2	101%

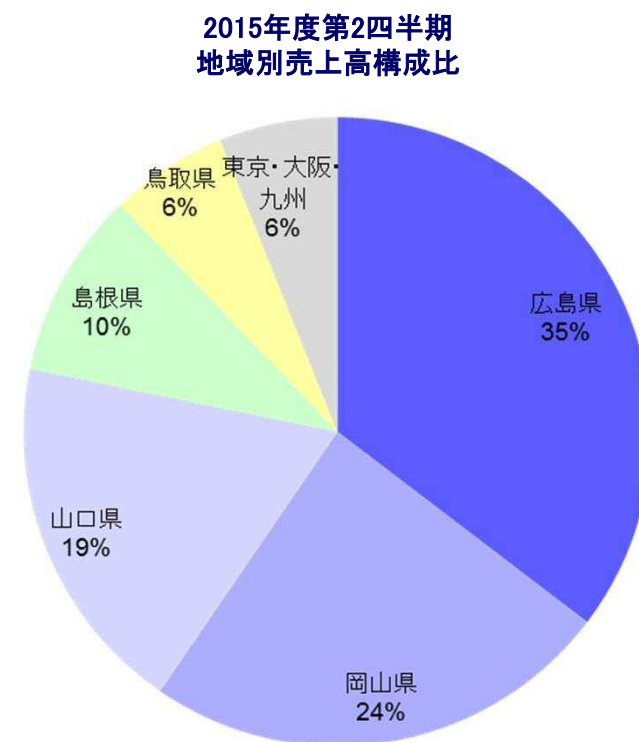
官公庁+一般 得意先計		407	72%	387	69%	▲19	95%
----------------	--	-----	-----	-----	-----	-----	-----

2015年度第2四半期決算(個別:地域別売上高)

- 中国電力向け工事の増加により、中国地域の構成割合が増加
- 通期では、中国地方が9割程度、東京・大阪・九州が1割程度

(単位:億円)

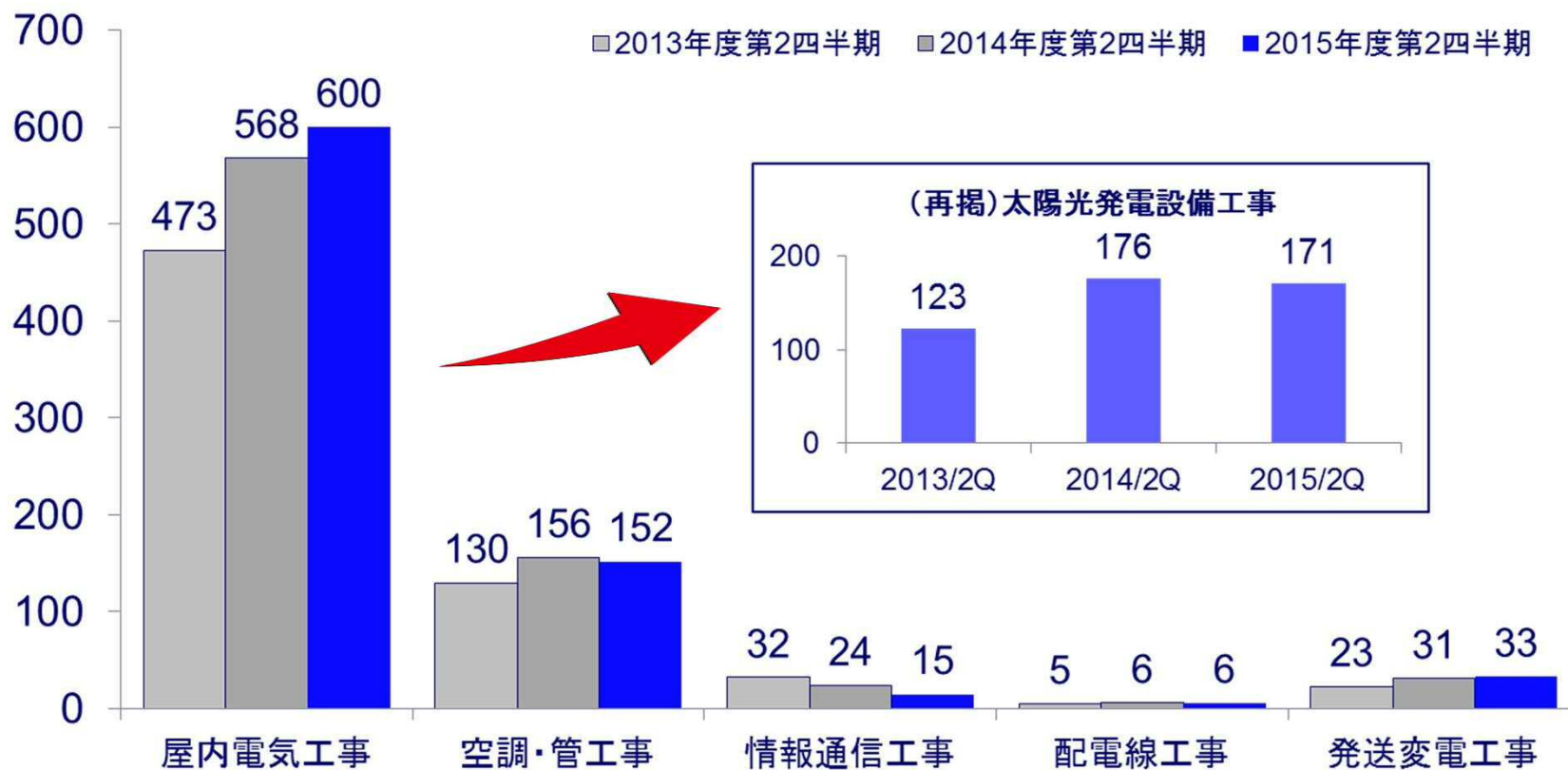
県別事業場	14年度 第2Q四半期		15年度 第2Q四半期	
	売上高	構成比	売上高	構成比
広島県内	180	32%	199	35%
岡山県内	139	25%	136	24%
山口県内	116	21%	105	19%
島根県内	45	8%	54	10%
鳥取県内	32	6%	34	6%
中国5県計	514	92%	530	94%
東京	29	5%	17	3%
大阪	7	1%	11	2%
九州	10	2%	5	1%
東京・大阪・九州計	47	8%	34	6%
合計	562	100%	564	100%



2015年度第2四半期決算(個別:手持工事高)

- 太陽光の手持工事高は、大型物件があるので、若干の減少に止まる
- 民間設備投資の増加基調など、総じて受注環境が良く、屋内電気工事の手持工事高が増加

(単位:億円)

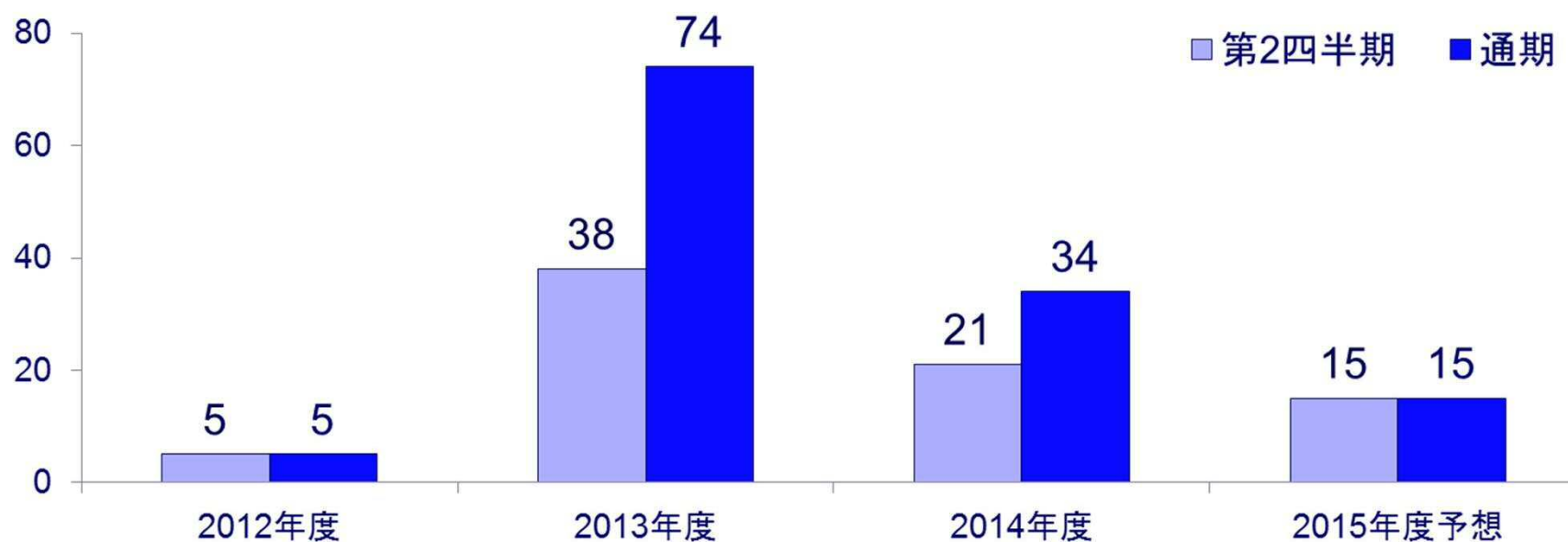


2015年度第2四半期決算(個別:投資有価証券償還益)

- 2015年度第2四半期実績 約15億円 (前年同期より5億円減少)
- 過去に減損処理した投資有価証券は、残り額面で30億円、その評価損は約16億円

償還益の推移(個別)

(単位:億円)



【投資有価証券償還益とは】

過年度に減損処理による評価損を計上し、帳簿価格を切り下げていた債券が、額面どおり償還されたため、額面と帳簿価格との差を償還益として営業外収益に計上したものの。

2. 2015年度業績予想(通期)

2015年度業績予想(連結業績予想)

- 売上高は15億円の減収、営業利益は1億円の減益
- 経常利益・当期純利益は、保有債券の償還益の減少を19億円見込んだことなどにより減益

(単位:億円)

連 結 業 績	2014年度 実 績		2015年度 当初計画		2015年度 見 通 し		対2014実績		対当初計画	
							増減額	前年比	増減額	計画比
売 上 高		1,455		1,390		1,440	▲15	99%	50	104%
営 業 利 益	(6.5%)	94	(4.5%)	63	(6.5%)	93	▲1	99%	30	148%
経 常 利 益	(11.1%)	161	(6.3%)	88	(9.2%)	133	▲28	82%	45	151%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	(7.2%)	104	(3.9%)	54	(6.7%)	96	▲8	94%	42	178%

2015年度業績予想(個別:部門別 受注高・売上高)

受注高

(単位:億円)

区分	期別	2014年度実績		2015年度予想		増減額	前年比
		金額	構成比	金額	構成比		
屋内電気工事		795	57%	761	55%	▲34	96%
空調・管工事		220	16%	217	16%	▲3	99%
情報通信工事		45	3%	49	4%	3	108%
配電線工事		290	21%	304	22%	13	104%
発送変電工事		44	3%	49	4%	4	109%
合計		1,397	100%	1,380	100%	▲17	99%

売上高

(単位:億円)

区分	期別	2014年度実績		2015年度予想		増減額	前年比
		金額	構成比	金額	構成比		
屋内電気工事		750	56%	711	54%	▲39	95%
空調・管工事		202	15%	207	16%	4	102%
情報通信工事		57	4%	44	3%	▲13	76%
配電線工事		291	22%	304	23%	12	104%
発送変電工事		36	3%	44	3%	7	121%
合計		1,339	100%	1,310	100%	▲29	98%

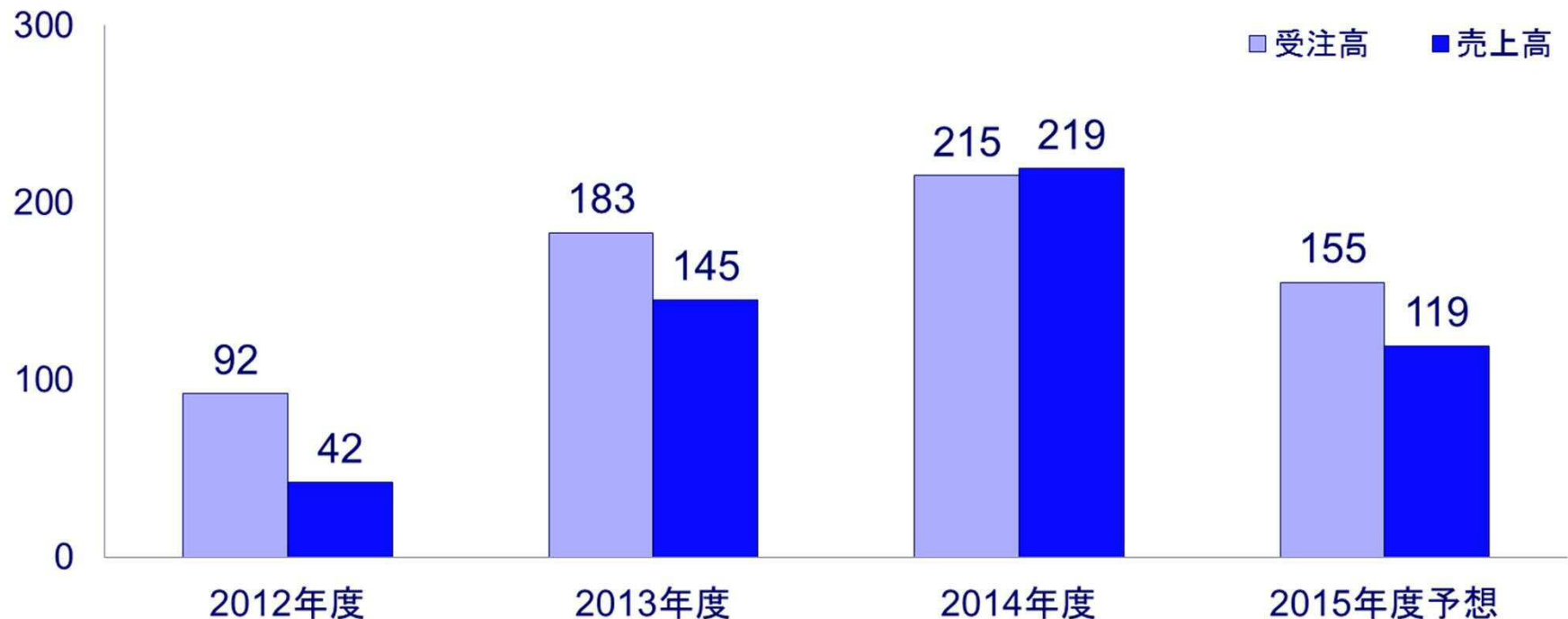
2015年度業績予想(個別:太陽光発電設備工事)

- 2015年度の太陽光発電設備工事は、買取価格の引き下げなどの影響により、大幅に減少
- 新規計画される事業は少なくなり、受注のペースは大きく減少

※太陽光発電設備工事は屋内電気工事に含まれる

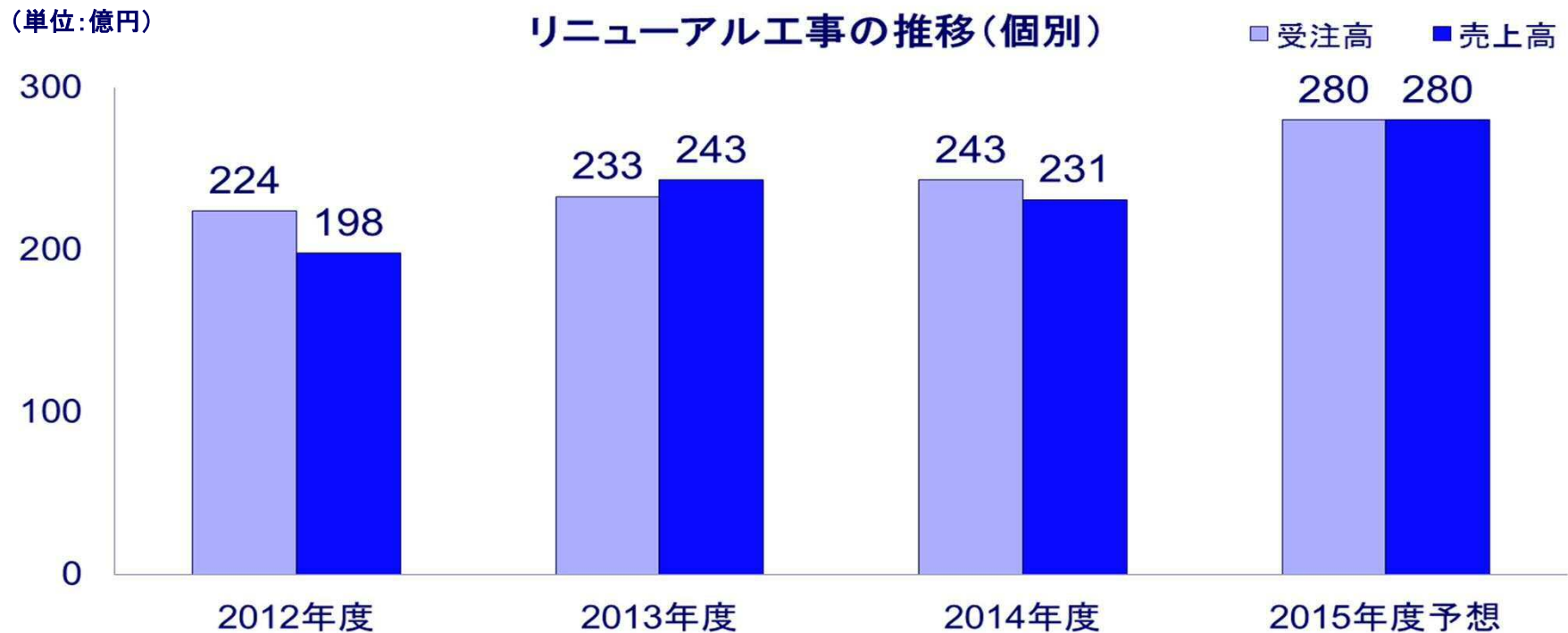
(単位:億円)

太陽光発電設備工事の推移(個別)



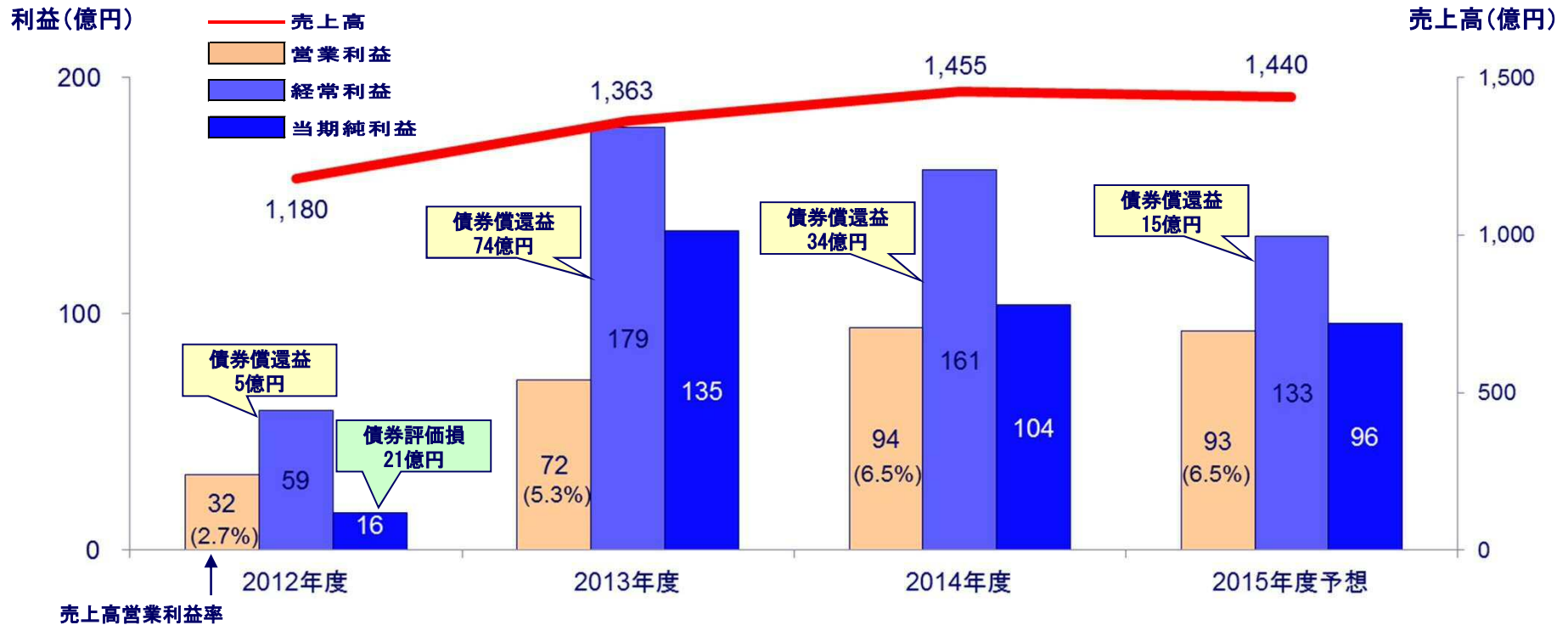
2015年度業績予想(個別:リニューアル工事)

- 省エネ・環境関連等の提案営業の強化によるリニューアル工事の増加
- 今後も継続してお客さまの省エネ・省コストに繋がる提案営業を積極的に行い、受注の拡大を図る



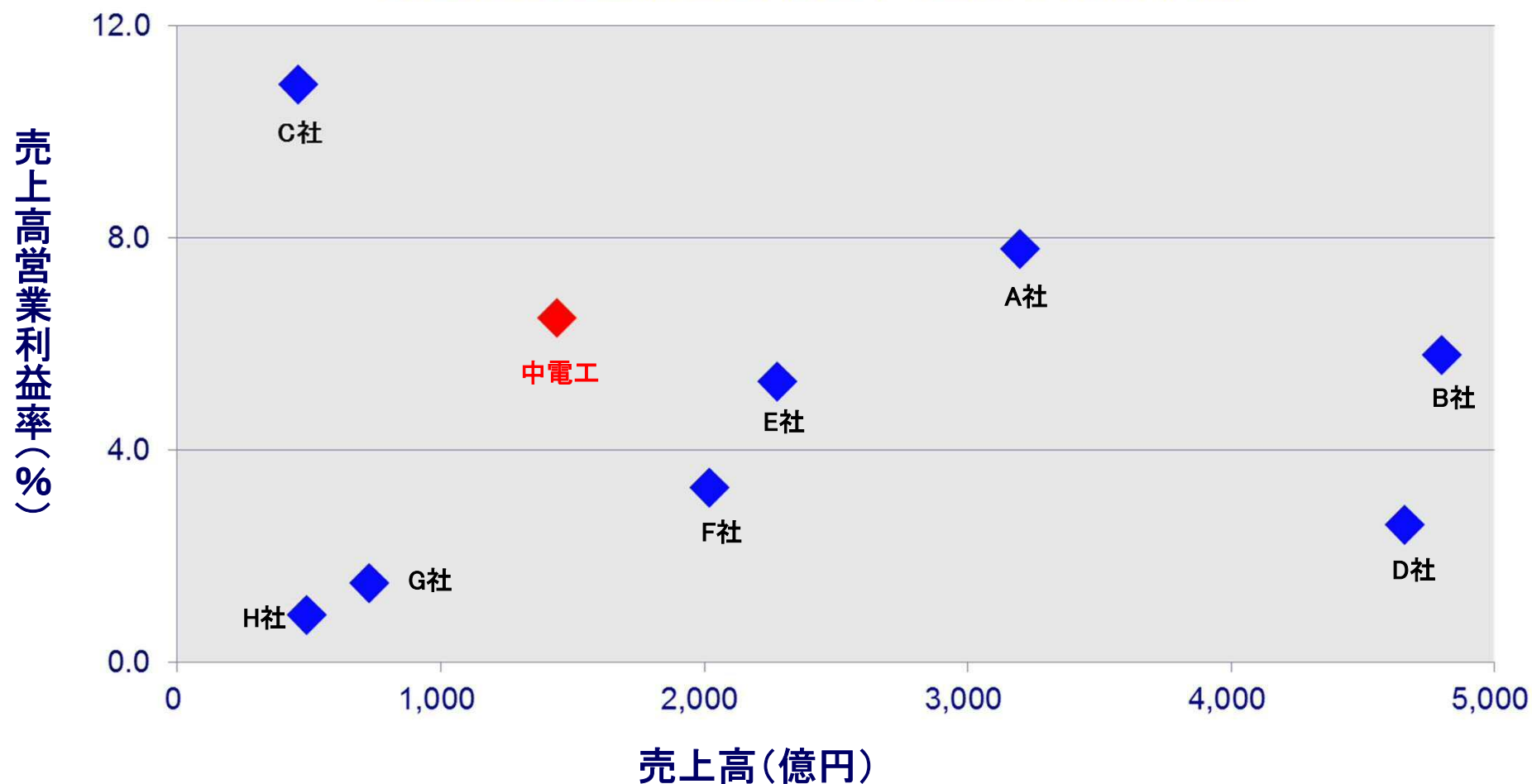
2015年度業績予想(連結業績の推移)

- 売上高は、太陽光発電設備の普及により2014年度まで増加基調にあったが、今年度は太陽光の買取価格の引き下げ等の影響により減収
- 営業利益は、総じて一般工事の受注環境が良いことや原価低減の取組みにより増加基調
- 経常利益・当期純利益は、2013年度をピークに保有債券の償還益が減少したことにより減少基調



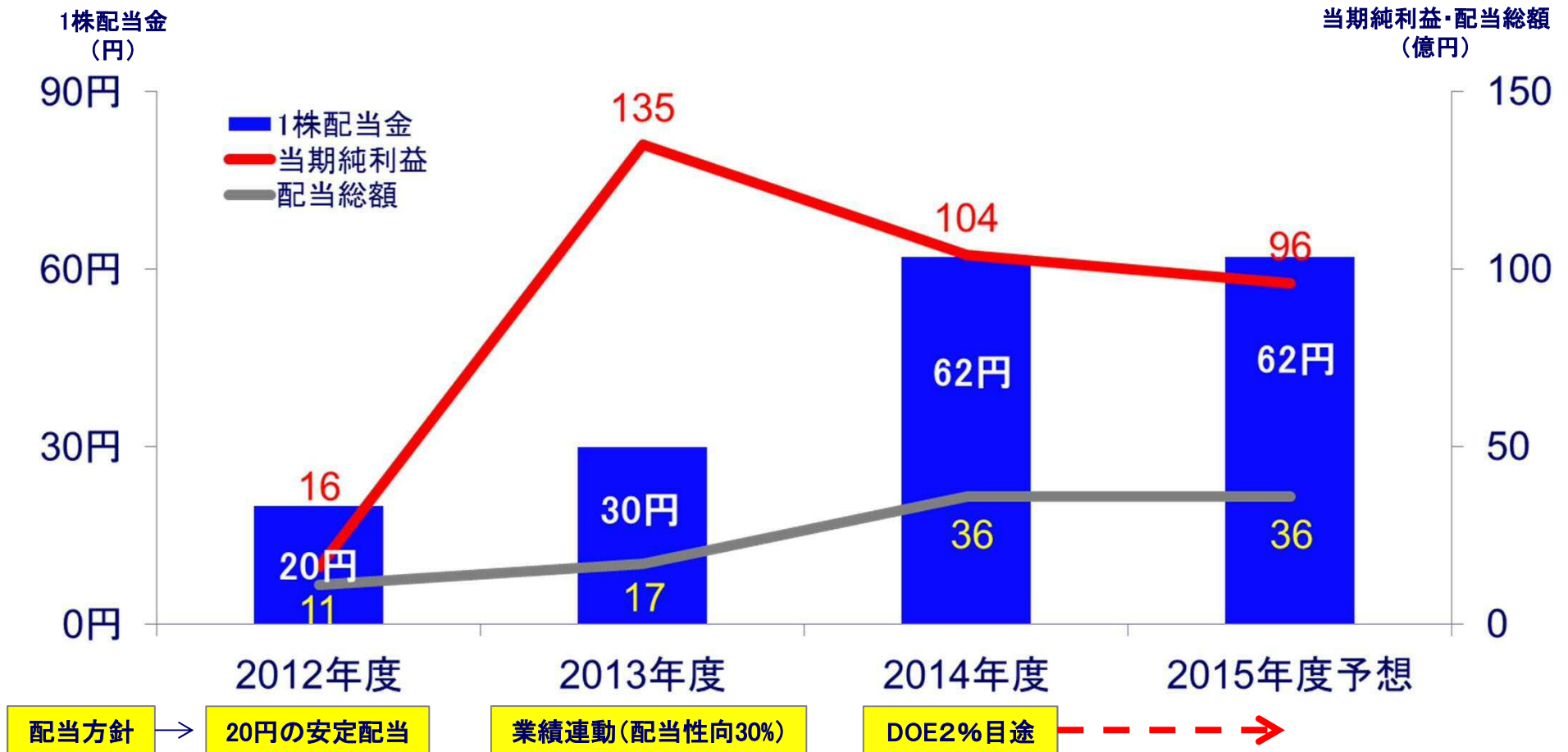
➤ 売上高規模は小さいが、売上高営業利益率は高い

売上高と売上高営業利益率(通期の業績予想)



株主還元(配当金の推移)

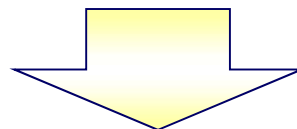
➤ 2014年度から持続的・安定的なより高水準の配当を行うことを重視し、DOE(連結株主資本配当率)2%を目処とする配当方針に変更



➤ 株主還元の充実および資本効率の向上のため自己株式を取得

【取得内容】

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	700,000株 (自己株式を除く発行済株式総数に対する割合 1.19%)
取得価格	1,672,300千円 (1株当たり 2,389円)
取得日	2015年8月31日



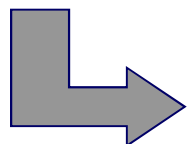
配当金支払36億円と自己株式取得16億円により、総還元性向は約55%となる見込み

3. 中期経営計画(2015～2017)

中期経営計画(連結:数値目標)

➤ 売上高は、太陽光の減少などにより一旦は落ち込むが、主要施策の実施で最終年度は1,500億円を目指す

➤ 営業利益は、積極的な成長戦略への投資(M&A・アライアンス、研究開発、人材育成等)による費用増を織り込み、減少を想定



この投資を2018年度の次期中計以降からの飛躍に繋げる

単位:億円

連結ベース	2014年度実績		2015年度見通し		増減額	前年比	2017年度目標	
売上高		1,455		1,440	▲15	99%		1,500
営業利益	(6.5%)	94	(6.5%)	93	▲1	99%	(4.7%)	70
経常利益	(11.1%)	161	(9.2%)	133	▲28	82%		
当期純利益	(7.2%)	104	(6.7%)	96	▲8	94%		

※()内は売上高利益率

テーマ

経営基盤の強化と更なる成長

主要施策

(1)受注の確保・拡大

- 中国地域における営業基盤の強化
 - ・リニューアル工事の受注拡大
 - ・特高工事・工場工事の受注拡大
 - ・元請工事の受注拡大
 - ・施工能力の強化
- 都市圏の事業拡大
- 成長戦略による事業拡大

(3)活力を生む“人づくり”

- 中電エグループ全体での人材の確保
- 次世代リーダーの育成
- 「より高度な仕事をする」環境の構築

(2)利益の確保・拡大

- 適正な原価管理の徹底
- 中電エグループ全体での生産性の向上

(4)品質の向上

- お客様満足度の向上

➤ 成長戦略に向けた投資枠(300億円)を設定

成長戦略の具体的な項目

・M&A・アライアンス

建設関連、環境関連、農業関連等

・技術研究開発

企業・大学等研究機関との提携等

・人材育成

高度な資格取得支援等

・子会社・協力会社の体制整備

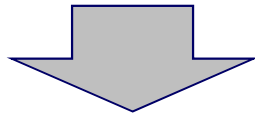
協力会社の囲い込み等

280億円

20億円

投資枠
300億円

M & A等の事業拡大のための投資枠 (280億円)



業容拡大を目的とした事業への出資

○太陽光発電事業による出資…約34億円

- ・オリックスとの共同事業への出資
- ・瀬戸内Kirieiへの出資

○中電エワールドファームへの出資…約6億円

約40億円

M & A, アライアンス

○現在検討中であり, 発表できる案件はない

都市圏の事業拡大

○現時点までは, 手持工事が多い中国地域に注力, これからは人材の採用やM & A等により都市圏の事業拡大を推進

➤ オリックス(株)と事業会社を設立し、太陽光発電事業で提携

オリックス(株)との共同事業の概要 (当社出資比率:30%)

会社名	OCソーラー株式会社
事業内容	再生可能エネルギーによる発電事業
設立	2014年2月
出資会社	オリックス(株)、(株)中電工
電力供給量	30MW程度の事業化を目指す

発電所	東野崎太陽光発電所	OC三豊太陽光発電所	OC岩国太陽光発電所	未定
所在地	岡山県玉野市	香川県三豊市	山口県岩国市	山口県周南市
出力規模	4.7メガワット	2.5メガワット	2.5メガワット	2.5メガワット
工事着工日	2015年5月7日	2015年4月10日	2015年9月1日	未定
運転開始時期	2016年3月(予定)	2015年11月(予定)	未定	未定

▶ 岡山県瀬戸内市のメガソーラープロジェクトに出資

瀬戸内メガソーラープロジェクトの概要（当社出資比率:10%）

運営母体	瀬戸内Kirei未来創り合同会社
事業地	岡山県瀬戸内市邑久町（錦海塩田跡地）
事業内容	発電事業及びその管理・運営並びに電気の供給、販売等
設立	2012年8月
出資会社	GEエナジー・フィナンシャルサービス、東洋エンジニアリング(株)、くにうみアセットマネジメント(株)、(株)中電工
運転開始時期	2019年開始予定

電力供給量
約230メガワット

年間を通じて一般家庭の約7万世帯の消費電力に相当する電力を供給



敷地面積
約265ヘクタール

錦海塩田跡地約500haのうち、約265haに太陽光発電所を建設



ソーラーパネル
約89万枚

一日当たり2,000枚のパネルを工場から受け入れ、トータルで89万枚のパネルを設置



売電単価
40円/kWh（税抜）
20年間

2019年運転開始後

O&M契約に基づき
発電所の運用・保守業務を実施

➤ 中国地方で大規模露地栽培手法による野菜等を生産する
合併会社を設立

中電エワールドファームの概要（当社出資比率:90%）

会社名	株式会社 中電エワールドファーム
事業内容	野菜の生産・加工販売およびそれに附帯する事業
設立	2015年11月
出資会社	(株)中電エ、(有)ワールドファーム
出資額	(株)中電エ5.6億円、(有)ワールドファーム0.6億円

(有)ワールドファーム

順次
引継ぎ

職員(約10名)
鳥取・岡山・広島の圃場(約40ha)

【2016年度末目標】
作付面積 100ha
収穫量 4,500t

(株)中電エワールドファーム

拡大・発展



4. 参考情報(会社概要)

■設立	1944年9月
■代表者	代表取締役社長 小畑 博文
■本店所在地	広島市
■従業員数	3,524名〔連結4,063名〕 (2015年3月31日現在)
■資本金	34億8,190万円
■株式上場	東京証券取引所第1部(1972年上場)
■売上高	1,339億円〔連結1,455億円〕(2014年度)
■営業利益	82億円〔連結94億円〕(2014年度)



社 是

当社は、全員が心を一つにして担当職務に精励し、株主の付託にこたえと共に従業員一同の福祉向上を図り、さらにはたゆまざる社業の発展を通じて地域社会の繁栄に貢献するため、われわれの遵守すべき精神的なよりどころとして「真心」を社是として制定している。

企業理念

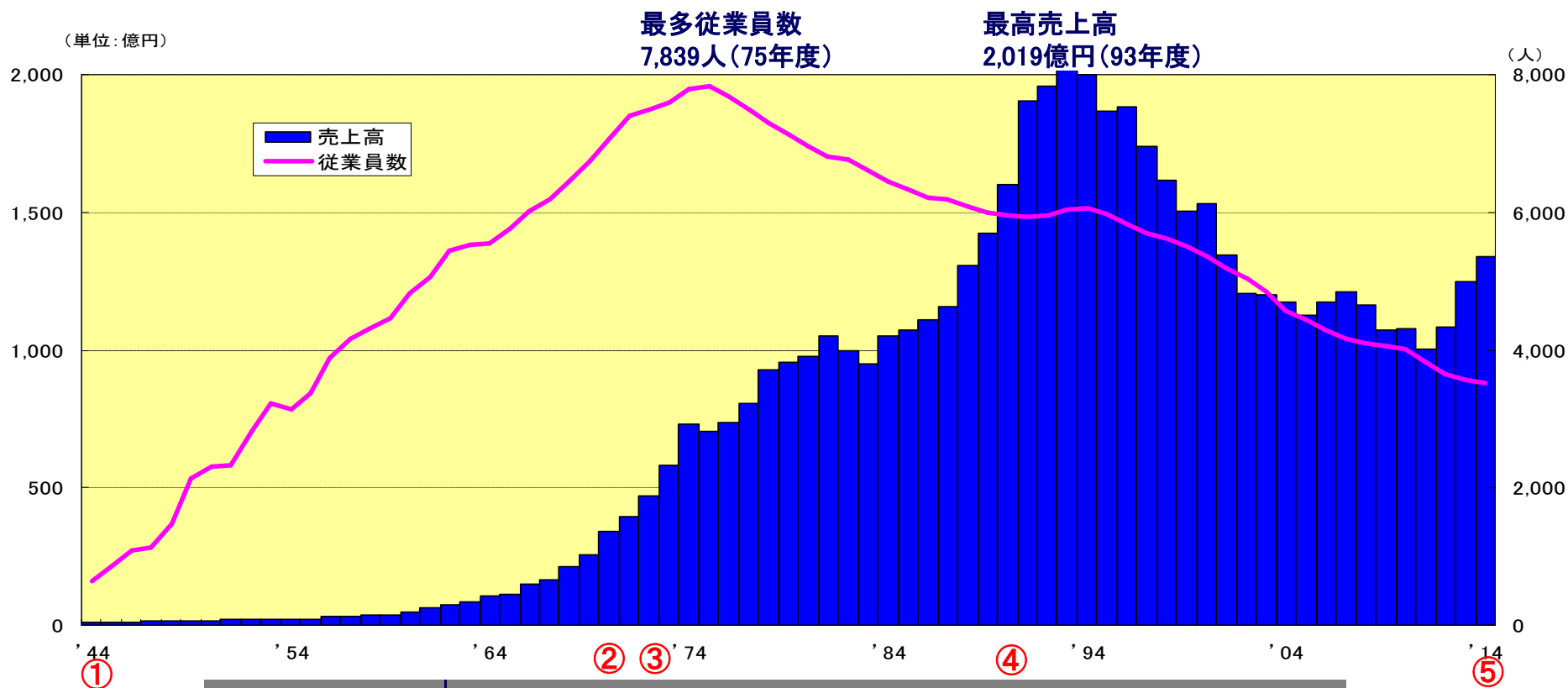
■ 企業使命

- ・総合設備エンジニアリング企業として、お客様のために高度な価値を付加した生活・事業環境を創出することにより、社会の発展に貢献する。

■ 経営姿勢

- ・お客様・株主の信頼を獲得し、選ばれる企業を目指す。
- ・環境に優しく、品質に厳しい企業を目指す。
- ・総合技術力の強化・向上を目指す。
- ・人を大切にし、安全で活力ある職場作りを推進する。
- ・受注の確保と経営の効率化を推進し、強固な経営基盤を堅持する。

【参考情報】 会社概要(沿革)



年 月	沿 革
1944年 9月	①中国電気工事株式会社を広島市に設立
1970年11月	②東京証券取引所市場第2部に上場
1972年 2月	③東京証券取引所市場第1部に指定
1990年10月	④株式会社中電工に社名変更
2014年10月	⑤創立70周年

【参考情報】 会社概要(事業内容)

ビル・工場・病院・店舗などの電気設備（屋内電気工事）、
空調・給排水・衛生設備（空調・管工事）、
CATV、防災無線など地域インフラ整備等（情報通信設備工事）の設計・施工

屋内電気工事



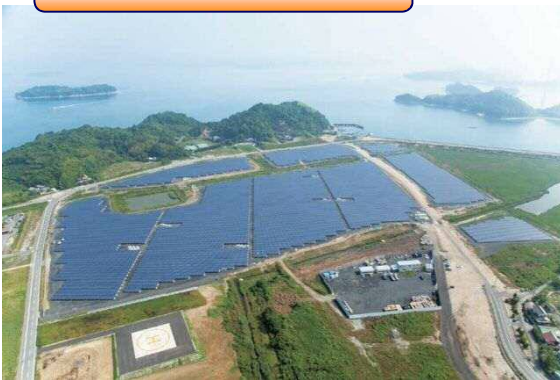
空調・管工事



情報通信工事



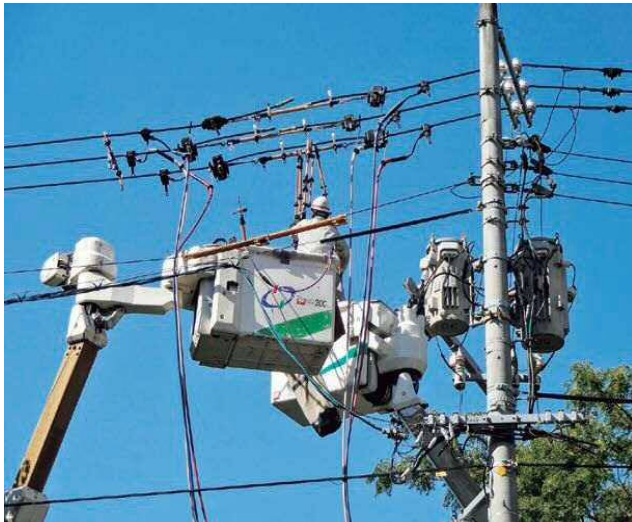
太陽光発電設備工事



【参考情報】 会社概要(事業内容)

- 電力の安定供給を支えるための配電設備（配電線工事）および鉄塔・送電設備（発送変電工事）の新設・改修工事の施工
- 主に中国電力から受注

配電線工事



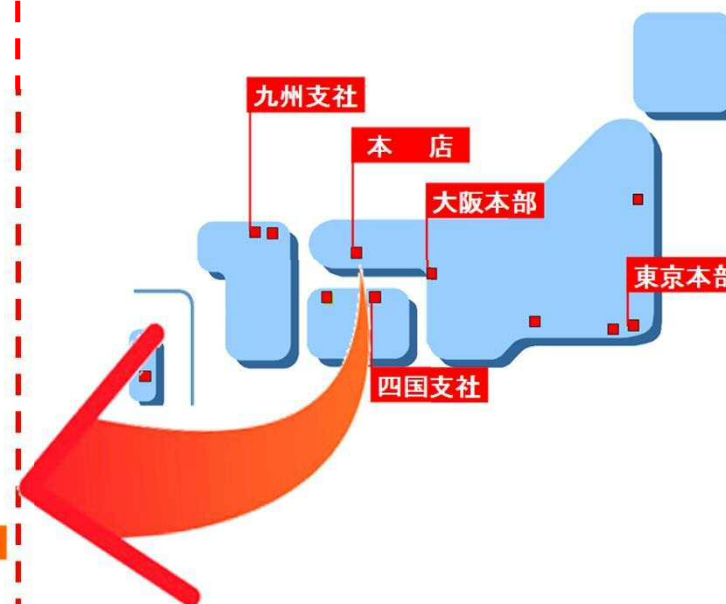
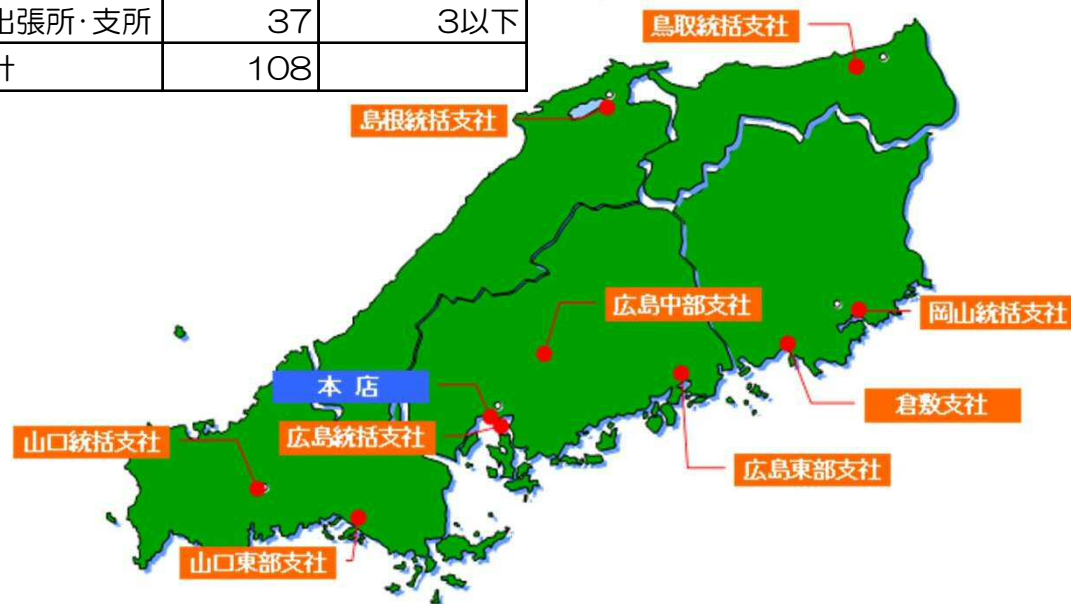
発送変電工事



➤ 地域密着型企业として中国地域5県を中心に拠点を構えるとともに、東京・大阪・九州などにも事業拠点を設置

中国地域の事業場設置数

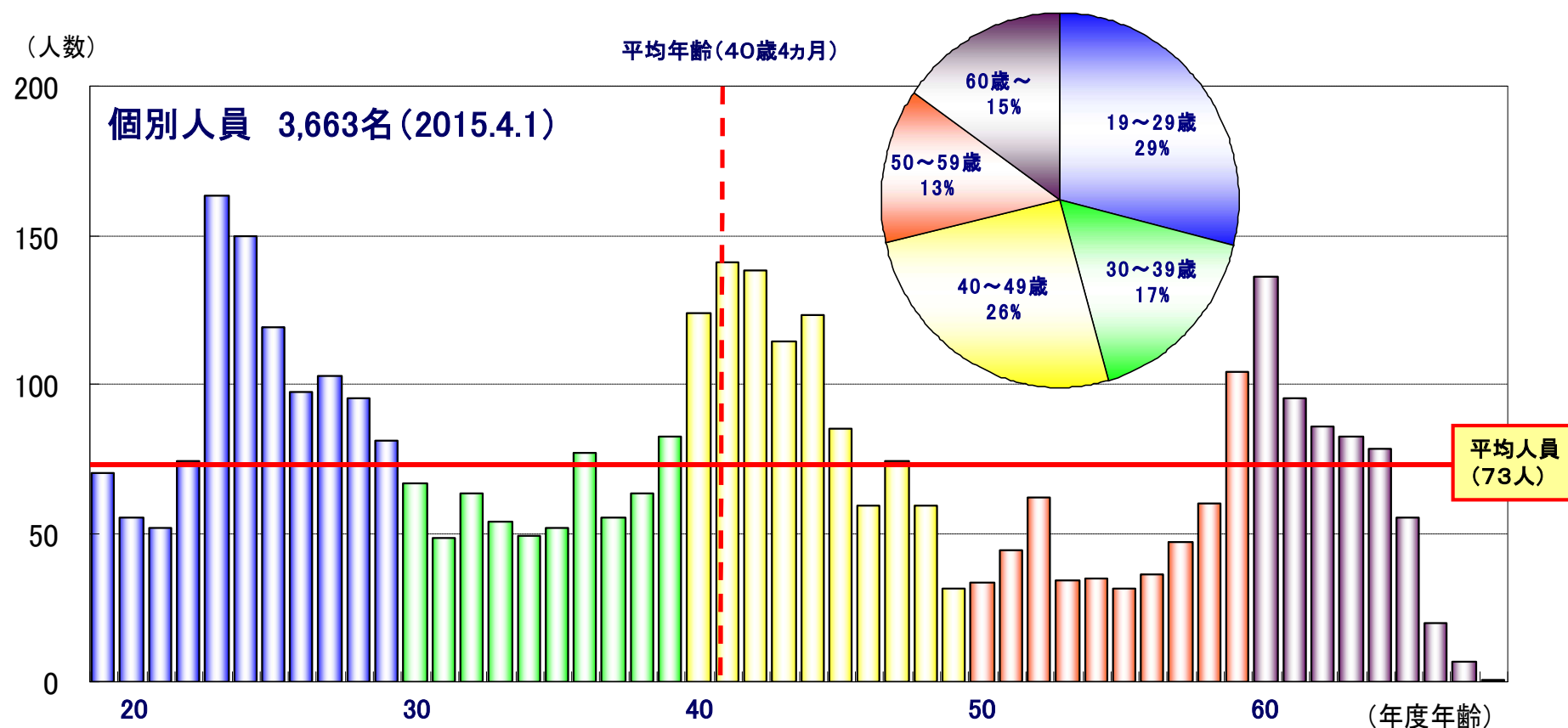
	設置数	平均人員
支社	9	200~300
A級営業所	27	50
B級営業所	35	20
出張所・支所	37	3以下
計	108	



全事業場数 119箇所
(H27.7.1現在)

【参考情報】 会社概要(従業員の構成)

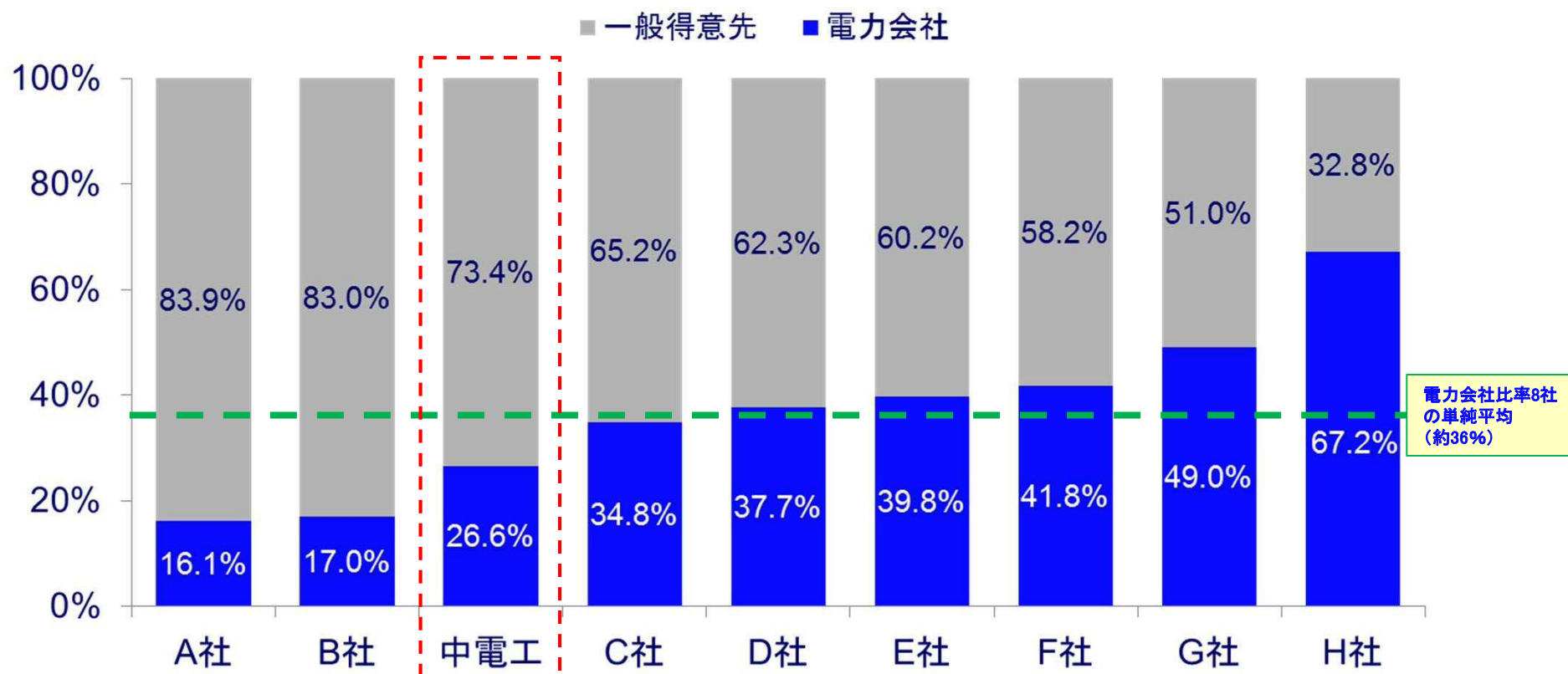
- 従業員の年齢構成は3つの山があり、近年、新卒採用及び中途採用を増やすことで、経営資源のマンパワーを維持
- 技術継承を確実に進めていくため、若年従業員の育成に注力



【参考情報】 会社概要(個別:得意先別売上高の同業他社比較)

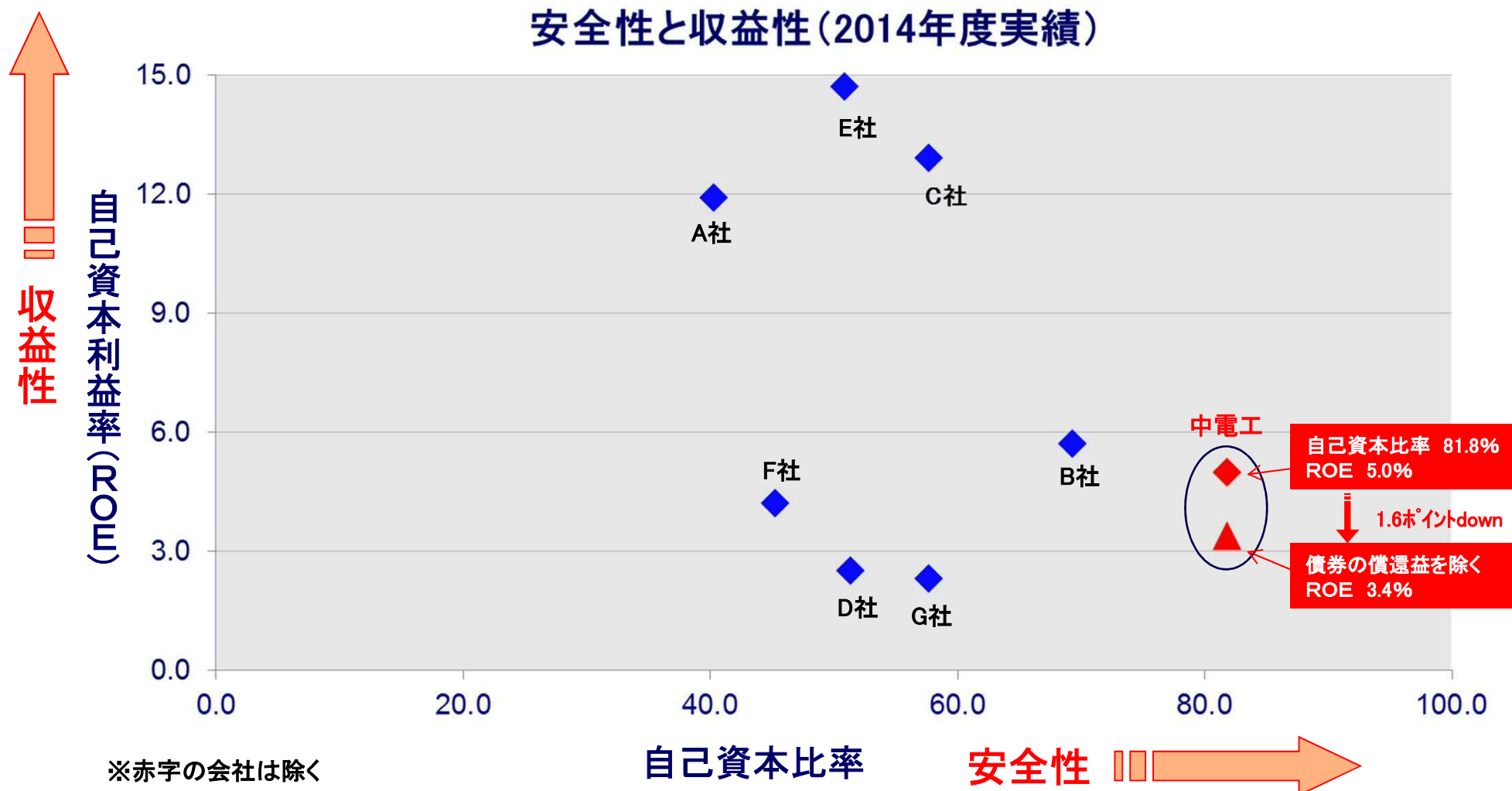
- 中国電力の売上比率は3割、一般得意先が増加したため、電力比率は低下
- ただし、中国電力からの売上高はここ数年着実に増加

得意先別の売上高比率(2014年度実績)



【参考情報】 会社概要(連結:安全性と収益性の同業他社比較)

- 厚い自己資本で安全性が高く収益性も中位にあるが、保有債券の償還益を除けばROEは低位であり、自己資本の活用が課題



【参考情報】 会社概要(年間配当金・配当性向の同業他社比較)

- 1株当たりの配当金は62円で同業各社でトップ
- 配当性向も38%と高水準

年間配当金・配当性向(2015年度予想)



『業績予想の適切な利用に関する注意事項』

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。